

2011年4月4日

各位

味の素製薬株式会社

## 炎症性腸疾患治療剤をドクター・ファルク・ファーマ社より導入

味の素製薬株式会社(社長:豊田友康、本社:東京都中央区)は、このたび、ドクター・ファルク・ファーマ社(以下、ファルク社、ドイツ)より、炎症性腸疾患(以下、IBD)治療を目的としたブデソニド注腸フォーム製剤のライセンスを受けることに合意しましたのでお知らせいたします。

今回のライセンス契約により、日本における独占的な開発、製造、輸入、販売権をファルク社より取得し、その対価として契約一時金、マイルストーン、ロイヤルティをファルク社へ支払います。ブデソニドを有効成分とする製剤は、ドイツおよび他の欧州各国では、「Budenofalk」 Rectal Foam の販売名でファルク社が販売し、IBD のひとつである潰瘍性大腸炎の主要な治療薬として使われています。ブデソニドは、安全性の高い局所作用型ステロイドです。また、泡状の注腸フォーム製剤とすることにより、炎症部位に直接投与が可能で、使用後に漏出しにくく、使いやすい製剤となっています。

尚、日本での承認取得に必要な研究開発は、味の素製薬(株)が行う予定です。

味の素製薬(株)は、下部消化管疾患に対する薬剤を数多く取り扱っており、この領域のパイプラインとして、自社開発品の AJM300の開発も手がけております。ブデソニド注腸フォーム製剤は、ファルク社から2008年4月に導入した1日1回投与の5-ASA顆粒製剤(開発記号 AJG501)に続く導入品となり、IBD 治療における新たな選択肢として、患者さんの治療および QOL 向上に貢献できるものと考えています。

今後も、消化器領域、特に IBD とその周辺領域の研究開発、および啓発活動により診断、治療に貢献し、患者さん、医療従事者から信頼と安心を得られる、尖ったスペシャリティファーマを目指してまいります。

### ファルク社について

消化器領域では世界有数の製薬会社のひとつであり、1967年の設立以後、「Salofalk」、「Budenofalk」、「Ursofalk」、「Mucofalk」等の製品を各国で販売しています。また、ファルク財団が40年以上に亘って支援してきた、150を超える国際シンポジウム、ワークショップには、100を超える国々からオピニオンリーダーが参加し、消化器、肝臓病治療の知識向上に寄与しています。本年11月11-12日には、味の素製薬(株)との共催で、日本で初めてのファルクシンポジウムを東京で開催する予定です。

以上

【本件の問い合わせ先】 味の素製薬株式会社 経営企画部 広報・IRチーム  
TEL:03-6280-9802 FAX:03-6280-9912